三芳町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界的に気温の上昇や豪雨・洪水等の深刻な自然災害が多発しています。また、国内各地においても、台風や豪雨により甚大な被害が発生しています。今後も地球温暖化の進行に伴い、さらなる頻発化、激甚化が予想されており、生命や財産のみならず、人類やすべての生き物の生存基盤を揺るがす「気候危機」とも言われるほど、極めて深刻な事態となっています。

こうした状況の中、2015 年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温の上昇を、産業革命以前に比べて 2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること」とされ、2018 年に公表された IPCC「国連の気候変動に関する政府間パネル」の特別報告書においては、この目標を達成するために、「2050 年までに、二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

日本においては、これらの目標の達成に向け、2020 年に、「2050 年までに 温室効果ガスの排出量をゼロにし、脱炭素社会の実現を目指す」との政府方針が示されました。

こうした国内外の動向を踏まえると、SDGs の理念に基づき持続可能なまちづくりを目指す当町においても、町民・事業者・行政が協働して、脱炭素社会の実現に向け取り組んでいくことが不可欠です。

このことから、将来にわたり、「安心・安全な暮らし」と、「みどり豊かなふるさと三芳町」を守るために、2050 年までに「二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指すことを宣言します。

令和４年３月26日

三芳町長 林 伊佐雄